



モンブラン登頂記

2013年7月16日～17日

モンブランの麓の町 シャモニー



シャモニーはフランスの山岳リゾートの町です。
町からはモンブランをはじめとした山々、氷河を見ることができます。
ミディ、モンタンベール等の展望台が多数あり、何日でも楽しめます(約1週間滞在)。
レストランやスーパーも多く、物価もスイス程高くなく、滞在しやすいです。
(ほぼ毎日自炊です。パンが主食ですので、たまに食べるアルファ米には助けられましたw)

モンブラン(4810m)登頂のルート



モンブランはヨーロッパアルプスの最高峰。今回はソロでの挑戦です。
5000m近い標高、変わりやすい天気、強烈な風が登山を困難にします。
天候が崩れるとガイド登山も中止するため、登頂成功率は3割程度とのことです。

モンブラン登頂の行程

7月16日

5:00頃 起床

6:00頃 バスでシャモニーから
ラファイエット へ移動

7:20 ラファイエット駅発

8:30 ニ・デーグル駅(2372m)着

8:50 ニ・デーグル駅出発(登山開始)

11:00頃 (難所)クーロワール通過

13:00頃 グーテ小屋(3782m)到着

18:00 夕食

21:00 消灯

7月17日

1:50頃 起床

2:50頃 グーテ小屋出発

ドーム・デュ・グーテ(4304m)通過

バロ避難小屋通過

6:00頃 山頂(4810m)！！

8:00頃 グーテ小屋帰着

11:00頃 クーロワール通過

12:20 ニ・デーグル駅着(登山終了)

12:30 ニ・デーグル駅発

13:50 ラファイエット駅着

15:30頃 シャモニー着

※前日7月15日はミディ周辺(3842m)で高度順応のため、5時間程度の登山。

アタック時の装備

ハードシェル: アルバロンJKT・ノードヴァンドプロパンツ(マムート)
ミッド: スマートウールのロングスリーブ、デナリタイツ(マムート)
インナー: ノースリーブシャツ・ボクサーパンツ(クラフト)
ヘッドウェア: ロックライダーヘルメット・ニットキャップ(マムート)
ライト: T-サミット(マムート)
ザック: トリオンガイド35ℓ(マムート)
グローブ: エキスパートプロ(マムート)、インナーグローブ(スマートウール)
ブーツ: バツラ2.0(スポルティバ)
ピッケル: コブラ(ブラックダイヤモンド)
クランポン: ペツル 12爪
サポートタイツ・アームカバー: C3fit
靴下: 比較的薄めのスマートウール

その他: サーモス山専ボトル、プラティパス、サングラス、スント時計、行動食

控え(山小屋までの岩場及び山小屋での使用でアタック時はザックの中)
フリース&ダウン(マムート)
ハット(ノースフェイス)
ハーフフィンガーグローブ(ブラックダイヤモンド)
スノーゴーグル、バラククラバ、オーバーミトン等も持参

※この日はコンディションが良かったため薄着でのアタックでした。
高山は何が起こるかわからないので、最強装備で望みます。



ニ・デーグル駅～クーロワール



ニ・デーグル駅(2372m)から、クーロワール(危険箇所！！)までは、絶景の中、ハイキング的な登りが700m程続きます。

特に危険な個所はありません。ハイキングをしている人も多数います。

クーロワール～ゲーテ小屋



クーロワールのトラバースは最大の危険個所です。ここは緊張しました。
ここは谷になってるので落石が集まります。TV等の情報によると毎年死者が出るらしいです。
実際に多数の落石群を目撃しましたし、自分自身も落石が落ち終わるのを待つために待機しました。クランポンを付けて、素早く、でも転ばないように渡ります。



クーロワール通過後はすぐに700m程の岩登りの開始です。

難易度は劔岳のカニのタテバイや、槍の穂先程度ですが、登る距離は何倍もあります。補助ワイヤーはありますが、梯子はないです。登る段差も日本人には大きいですし、落石の危険もあるため、素早く休まず登る必要があるため、結構疲れますし、緊張が続く所です。

ゲーテ小屋(3782m)



食堂は明るく、きれいです。景色も良く、寛げます

2013年にオープンした、とても新しく、近未来的な小屋です。小屋は全体的に明るく、木材が多く使われています。食堂ではパスタが12€、水が1.5ℓで5€程度です。収容人数は150人とのことです。当日は40人程度でした。夕食はチーズ、スープ、メイン、デザートのコースでした。トイレは水洗できれいです。



この日のメイン サーモンのオーブン焼きとご飯

グーテ小屋～ドームデュグーテ(4304m)



午前2時前に起床し、軽い朝食の後出発します。この区間は、特に、「登っても登っても、ひたすら長い登りが続く」ように感じます。高度の影響もあるので、無理しないようにゆっくり目のペースで、休むことなく歩きます。

当日は、ほとんど無風で、降雪もなく、絶好のコンディション。高度順応も成功し、体も絶好調でした。逆に、暴風や吹雪になるとガイドと一緒に撤退することになります。高山病になっても同様です。今回はソロですので、自分自身での危機管理が重要です。

ドームデュグーテ～頂上



ドームデュグーテを登りきると、少し下ったあと、再び登り返します。バロ避難小屋の辺りから滑落危険地帯に入ります。きつい傾斜の登りや、ナイフリッジが続きます。脚を引っ掛けたりすると滑落します・・。この間もほとんど休むことなく登ります。頂上に達する少し前にようやく薄明るなくなってきました。気温はマイナス5℃～10℃くらいでしょうか。登りが続くので体は熱いです。（休憩せず水を補給するため、プラティパスを凍らせないよう、カイロを貼る+頻繁に飲むという作戦をしていました。）



いくつかの小ピークを超えて山頂まで登りが続きます。
この辺りは風が非常に強いらしく、風速20～30mが普通だそうです。
アタック時は微風だったので、本当に条件が最高でした。
登りの時点では、この辺りでは薄明かり+雲が立ち込め展望はありませんでした。
(これは下山時の写真)

モンブラン頂上(4810m)



ヨーロッパアルプス最高峰モンブランの頂上です！

頂上では登山者同士がお互いを祝福します。

皆同じ山を目指し、それを成し遂げた仲間のような感じです。

小屋で仲良くなったフランス人のポールや、シャモニー山岳ガイドのおじさんも到着し、皆で喜びを分かち合います。



頂上の景色は、まるで別世界のようにでした。

頂上から下山開始



頂上には20分程滞在し、下山開始です。もちろん無事に下山してこそその登山です。また、新しい山へのスタートでもあります。



下山途中の風景です。光と影のコントラストが素晴らしかったです。
登りと異なり、下りは高山でも全く疲れを感じなかったので、一気に走り降りるイメージで下ります。グーテ小屋まで一気に下り、早めの昼食を食べて下山です。

ゲーテ小屋～クーロワール～ニ・デーグル駅

ゲーテ小屋で着替えを済ませ、岩場の下りへ。
夜の雨で少し凍っている箇所があり気をつけました。



山小屋のパスタ。大盛りで結構おいしい！

クーロワールでは、真ん中を流れる小川が少し広がっており、行きよりも緊張しました。ガイド登山の数名が怖さのあまり立ち往生していました。
下山後、夕方から雷雨になりました。ペース上げておいてよかったです。

おわり



モンブランは1泊2日で登頂できるとは言え、標高4810m、登山口からの高低差も2500mと決して楽な山ではありません。また、ヨーロッパではスピード登山＝安全という考えがあります。十分な練習とトレーニングをして体力を付け、最強装備で登山に望む必要があります。